

## 「秘境」

秘境とは、一般に知られていないところ、人が足を踏み入れたことがほとんどなく、どのようなところか世間に知られていない土地をいう。私が初めて銀山平を訪れたのは4年前の5月のこと。現在、高校2年生になる生徒が、中学1年生の時に行われた「魚沼自然教室」の引率として、この地を訪れた。奥只見シルバーラインという細く長いトンネルを抜けると、そこには別世界が広がっていた。川は透き通っていて、広く白い河原を流れ、湖にそそぐ。前日に田植えを実習したのに、ここではまだかなりの雪が残る。間近に見える越後三山は白く輝く。日本国内には秘境と呼ばれるところがいくつかあるが、奥只見ダムやその建設のためのシルバーラインができなければ、ここを訪れる人はほとんどいなかっただろう。まさに秘境といっても過言ではない場所だ。それだけ手つかずの自然が残されている。

現2年生の魚沼自然教室は、新型コロナウイルス感染予防のため、3度の延期を余儀なくされた。3年生に延期されることはないだろうから、今回が最後のチャンスになろう。本校の生徒が行く10月中旬は、先ほど紹介した奥只見湖や銀山平が一年で最も色鮮やかな紅葉のピークを迎える時期である。紅葉に染まった木々が一面に広がり、湖畔にそびえる切り立った山々が湖を囲んでいるだろう。宿舎となる「緑の学園」はその湖を望む丘にあり、自然の美しさ、雄大さを誰もが感じられる場所であり、自然教室の名にふさわしい施設である。

今回、区内全部の中学校が10月中旬から12月にかけて実施するため、区の方針で2泊3日を1泊2日に変わった。期間が短くなったため、今までのような田植えや稲刈りといった活動はできないが、大自然のすばらしさを感じることはできる。そこでの体験や、友達と共に過ごす時間は、今後の学校生活に貴重なものになるだろう。さらに、3年時の修学旅行に向けた宿泊体験としても意義がある。バスの乗車人数や宿舎での室内人数に制限を設け、感染予防には十分に配慮して実施するので、2年生の保護者の皆様にはご理解いただきたい。

9月21日 校長 鈴木 幸雄

◆問題 ある正の整数Aには「Aを□でわると、 $\square - 1$ 余る」という性質があります。このとき、□が2、3、4、5、6、7、8、9、10のいずれの数でも成り立つような、ある整数Aのうち、最も小さい数を答えなさい。